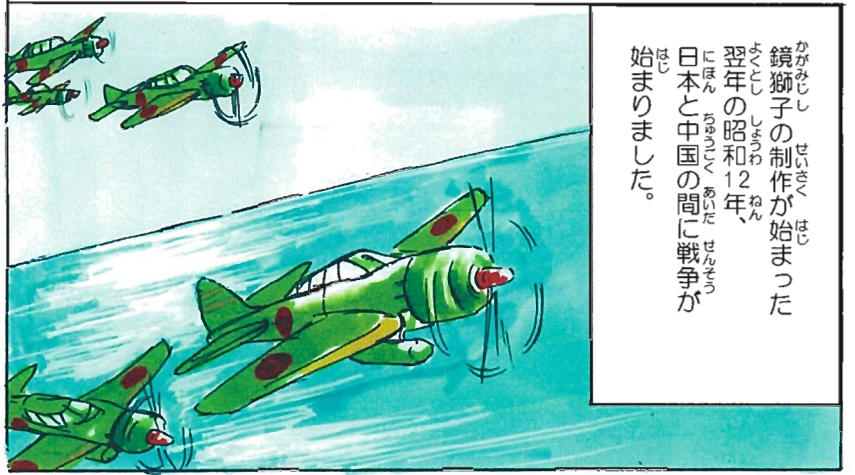


田中彫刻記

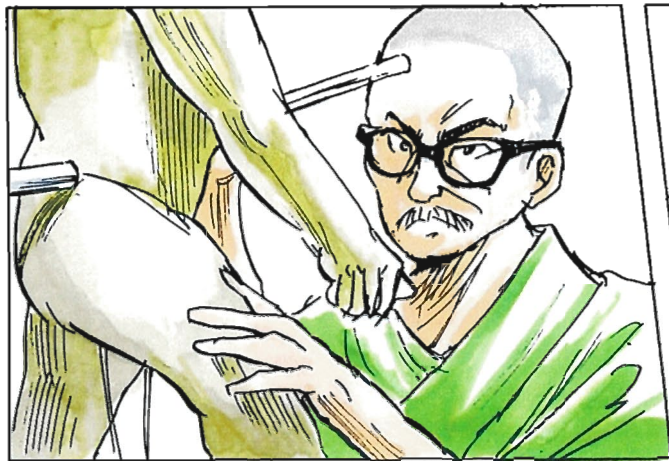
でんちゅうちようこくき

るくだいめきくごろう でんちゅう
第二十話 ~六代目菊五郎と田中~

Takashi
作 ©いとうたかし



鏡獅子の制作が始まった
翌年の昭和12年、
日本と中国の間に戦争が
始まりました。



そのような中でも、
田中は彫刻刀を持つ手を
休めず、ひたすらに
菊五郎と対峙していました。



田中先生のこの目……
まるで踊りの名人の目だ……



田中先生…

稽古するときは
限りはしませんよ



まず、基本を頭にたたき込むため、
菊五郎のはだかの像を作りました。

「鏡獅子試作裸像」

「鏡獅子試作顔」

次に、
顔を拡大した像も作り、
昭和13年に日本美術院の
展覧会に出品しました。

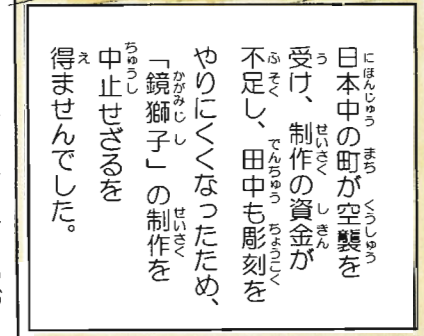


フフ…
これがあるから
面白いんだよ



日中戦争は
次第に広がり、
昭和16年に、
日本は太平洋戦争に
突入しました。

「試作鏡獅子」は
大変評判となり、
完成に向けて順調に
歩んでいました。
しかし—



日本中の町が空襲を
受け、制作の資金が
不足し、田中も彫刻を
やりにくくなったため
「鏡獅子」の制作を
中止せざるを得
ませんでした。



翌年昭和14年には、
衣装をつけた
「試作鏡獅子」を
出品しました。